

項目・課題	対応・考え方	第2回戦略会議でのご意見（要約）
<p>① 審査基準の点数の目安</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 委員毎に点数の付け方が異なる（採点の甘辛がある） 普通だと何点なのかという基準が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配点は、当初案通り、6段階評価（0点、1点、2点、3点、4点、5点）にする。 ○ 選定要領において、6段階評価の各点数の評価の目安となる基準を明示する。 <p><基準の例：革新性の評価></p> <ul style="list-style-type: none"> 5点：全国に類似例がない 4点：全国に類似例が少ない 3点以下：類似例が少ないほど高得点 ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通だと何点なのかという基準を持っていたほうが良く、そこからどれだけ良いか、悪いかは各委員の判断となる。革新性とか実現性はいいなと思っても満点を付けることはないと思うが、そうしたときに何も採用するアイデアがないようなことは避けるべき（山下委員） ・ 8割以上となるとなかなか点を付けづらいと思う。県としてもどの程度採択したいのかを踏まえてボーダーを設定する必要がある。（内田座長） ・ 今の審査基準だと、審査委員同士で審査の甘辛が著しく出てしまい、審査員の思いが正しく反映されない審査結果になるのではないかと懸念している。そういう意味でもどういう状態が整っていれば何点を付けるといったような認識合わせをしっかりとやっていただく必要がある。（佐橋委員）
<p>② 優れた提案の選定方法 （委員8名のうち採点結果上位4名を抽出し、その平均が100点を超える提案を採択）</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 平均点が高い提案が採択される傾向となり、必ずしも革新的な提案が採択される仕組みとはいえない。 8名のうち上位4名の平均が高得点でないといけないのは、ハードルが高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 革新的な提案を採択する観点で、各委員による採点后、協議の時間を設け、各委員が点数を補正するプロセスを追加する。 ○ なお、評価の視点として「革新性」や「インパクト」の配点を大きくしており、その点が評価できる提案が多く委員に高く評価される仕組みとしていることから、委員8名のうち採点結果上位4名を抽出し、その平均が100点を超える提案を採択する方法は変更しない。 <p><優れた提案選定の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンと質疑応答の後、各委員が採点 ・ 採点結果を各委員が共有し、評価すべき点等について協議のうえ、点数を補正 ・ 最終的な選定結果を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8人中上位4人というのは半分の人から支持をされているということで、その時点で尖ったものと言えない。例えば、10件審査して1人が最高得点をつけていれば選定するといった運用で、尖った案件が拾いやすいという過去の実績がある。（佐橋委員） ・ 1人の最高得点ではなく2人でもよい。そこは検討の余地があると思う。（佐橋委員） ・ 1人の委員が最高得点をつけた案は採用とする方法について、1人よりは2人ぐらいのほうがいいのではと思う。1人だとその人で決定となってしまう。ただ4人だと半分なのでハードルが高いと私は感じる。（内田座長）
<p>③ 外部の専門家の意見聴取</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な分野の提案を固定の委員で正しく評価するのは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外部有識者からの意見聴取ができるよう審査要領に規定する。 ○ 外部有識者の人選は、戦略会議委員との事前協議により決定し、事務局が当該有識者の意見を事前聴取し、戦略会議委員に提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の領域に秀でた提案、例えば技術がとがった提案とかを必ずしも固定の審査員で正しく評価できるわけではないと思うので、そういった提案があった場合、外部の専門家を審査員として招聘するような仕組みも検討しては。（佐橋委員） ・ 専門性の高いものに関しては外部の有識者から個別にヒアリングをするなり、それもセカンドオピニオンとして2人ぐらいいたほうがいいのではないかと思う。（内田座長） ・ 優れた提案の選定の際は、当該分野の有識者の意見も聞くべき。（鬼頭委員）

項目・課題	対応・考え方	第2回戦略会議でのご意見（要約）																																						
<p>④ 「優れた提案の選定にあたっての視点」の項目名と考え方</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 「必要性」と「妥当性」が類似しており、違いが分かりにくい。 	<p>○ 考え方を整理し、以下のとおり変更する。 （当初案の「必要性」「妥当性」は考え方を整理し、「必要性」に統合。本戦略の趣旨から「共創性」を追加）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><当初案></p> <p>必要性：プロジェクトの実現に愛知県の関与が不可欠、または重要な要素であること （愛知県が当事者となるプロジェクト、愛知県の支援によって成果が期待されるプロジェクトであること）</p> <p>妥当性：愛知県が取り組むべきものであること （愛知県行政の権限範疇やプロジェクトの実施場所が愛知県の行政区域内であること）</p> <p><見直し後></p> <p>必要性：愛知県が取り組むべきものであること （愛知県特有の地域課題又は全国を先導する課題解決のプロジェクトであること）</p> <p>共創性：プロジェクトの実現に共創が不可欠、または重要な要素であること （官民連携や民間同士の連携・協同などにより相乗効果や高い成果などが期待されること）</p> </div>	<p>・ 必要性和妥当性が文言だけ見ると非常に意味が似通っていて、中身をみると妥当性のほうは県にとって特有の社会課題の解決など地域性のようなもので、必要性和の仕分けは明確にしたほうがいいのではないかと思う。（内田座長）</p>																																						
<p>⑤ 配点の調整</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 革新性とインパクトに配点が偏っている。 必要性・妥当性の観点も重要と考えられるが、配点が低くなっており、全体的に配点のバランスが悪い。 	<p>○ 全体的な配点バランスを考慮し、「革新性」・「インパクト」の配点を下げ、「必要性」・「共創性」の配点を高める。</p> <p>○ 「共創性」の視点について、官民共同・行政主導においては、官民の共創により高い成果が期待できるプロジェクトの提案を優先するため、民間主導よりも配点を高めた。</p> <table border="1" data-bbox="854 1157 2763 1350"> <thead> <tr> <th rowspan="2">変更前</th> <th></th> <th>革新性</th> <th>必要性</th> <th>妥当性</th> <th>実現性</th> <th>イパ外</th> <th rowspan="2">変更後</th> <th></th> <th>革新性</th> <th>必要性</th> <th>共創性</th> <th>実現性</th> <th>イパ外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間主導</td> <td>35</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>35</td> <td>民間主導</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>官民共同 ／行政主導</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>官民共同 ／行政主導</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	変更前		革新性	必要性	妥当性	実現性	イパ外	変更後		革新性	必要性	共創性	実現性	イパ外	民間主導	35	5	5	20	35	民間主導	25	15	15	20	25	官民共同 ／行政主導	35	10	10	20	25	官民共同 ／行政主導	25	15	20	20	20	<p>・ 革新性とインパクトに大分比重が偏っているなという印象があって、必要性和妥当性も目を向けなくてもいいのかなと思う。（佐藤委員）</p> <p>・ 県にとって重要な課題、たとえば農林水産業だと農業方面で革新的な事業が少ないとか、文化芸術はデザイン性が弱いから重点的にやっていきたいなど、その部分が配点で5点から10点だとなかなか拾いにくいとか、そのあたりの配点は複雑になってしまうと採点が難しくなってしまうのでいいバランスを検討していただければと思う。（内田座長）</p>
変更前			革新性	必要性	妥当性	実現性	イパ外	変更後			革新性	必要性	共創性	実現性	イパ外																									
	民間主導	35	5	5	20	35	民間主導		25	15	15	20	25																											
官民共同 ／行政主導	35	10	10	20	25	官民共同 ／行政主導	25	15	20	20	20																													
<p>⑥ アイディア入力項目の追加（プロジェクトの革新性）</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 「革新性」の視点における採点をする際に、プロジェクトの革新性を記載する項目が分かりにくい。 	<p>○ アイディアの入力項目が、評価の視点を網羅しているかという観点でみたとき、「革新性」について記載する入力項目が曖昧であったため、別途「プロジェクトの革新性」の入力項目を追加する。</p>	<p>・ アイディアの提案内容が審査項目を網羅する内容になっているか、整合できているかというのがよくわからない。（石川委員）</p>																																						
<p>⑦ 委員意見のフィードバック</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた提案に選定されなかった提案者に改善点を伝える必要がある。 	<p>○ 委員意見の記入項目を採点表に追加</p> <p>○ 提案が不採択になった場合でも、当該提案者に委員から改善点等に関する意見を通知する制度とする。</p>	<p>・ 定量的に評価すると委員によって評価にばらつきがあると思う。最終的に出た数字が感覚的に合っていればいいが、意外と低く出てしまったとか、すごいのに65点だったとか、出てきた点数にプラスして委員コメントで「ここはよかったけど、これは課題だった」などわかるようにしておくのがいいのかなと思う。（石川委員）</p>																																						